

## ATHENA LIBRARY OF AMERICAN STUDIES

## 【アメリカ研究基本文献シリーズ】

## Part 7, Vols 26-28 : Social Life and Manners, Fifth Series

ISBN 978-4-902708-56-1 C3322 • 全3巻セット定価 52,000円 (税込 54,600円)

外国からの訪問者がアメリカについて書いた好著を復刻。  
アメリカの社会・文化研究において、また比較文化研究に貴重な資料。



18世紀後半から19世紀には、ヨーロッパ(主にイギリス・フランス・ドイツ・イタリア)の多くの著述家がアメリカを訪れ各地を旅行している。彼らは当時の広大なアメリカをどのように見ていたのか?

26巻と27巻は、「ヨーロッパ人から見た“アメリカ”」、植民地時代から19世紀までのアメリカの生活、人種問題、奴隷制から女性教育にいたるまで幅広く取り上げ、比較文化研究においても貴重な資料。

**Volume 26 : Henry Theodore Tuckerman**  
*America and Her Commentators, with a Critical Sketch of Travel in the United States* (1864)

ISBN 978-4-902708-57-8 C3322 • 468 pp.  
18,000円 (税込 18,900円)

Early Discoverers and Explorers • French Missionary Exploration • French Travellers and Writers • British Travellers and Writers • English Abuse of America • Northern European Writers • Italian Travellers • American Travellers and Writers • Index

**Volume 27 : John Graham Brooks**  
*As Others See Us: A Study of Progress in the United States* (1908)

ISBN 978-4-902708-58-5 C3322 • 376 pp., 13 pl.  
15,000円 (税込 15,750円)

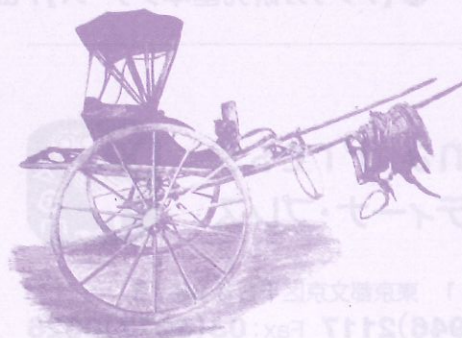
The Problem Opened • Concerning Our Critics • Who Is the American? • Our Talent for Bragging • Some Other Peculiarities • American Sensitiveness • The Mother Country as Critic • Change of Tone in Foreign Criticism • Higher Criticism • Our French Visitors • Democracy and Manners • Our Monopoly of Wit • Our Greatest Critic • A Philosopher as Mediator • A Socialist Critic • Signs of Progress • Index

このシリーズに度々登場する歴史家アリス・モルス・アールの著作。アメリカ植民地時代の旅行(移動)についてさまざまな情報を提供してくれる。宿屋と居酒屋の生活とそれらの主人、食物、飲物、タバコ、駅馬車、駄馬、ワゴンとそれらのドライバー、道路上での困難と危険など。豊富な図版を添えて分かりやすく書かれた好著。

**Volume 28 : Alice Morse Earle**  
*Stage-Coach and Tavern Days* (1900)

ISBN 978-4-902708-59-2 C3322 • 468 pp., 27 pl., ill.  
19,000円 (税込 19,950円)

The Puritan Ordinary • Old-Time Taverns • The Tavern Landlord • Tavern Fare and Tavern Ways • Kill-Devil and Its Affines • Small Drink • Signs and Symbols • The Tavern in War • The Tavern Panorama • From Path to Turnpike • Packhorse and Conestoga Wagon • Early Stage-Coaches and Other Vehicles • Two Stage Veterans of Massachusetts • A Staging Centre • The Stage-Driver • The Romance of the Road • The Pains of Stage-Coach Travel • Knights of the Road • Tavern Ghosts • Index



# 植民地時代から十九世紀後半までの新生アメリカ合衆国を旅人の眼から見た好著の復刊

越川 芳明 明治大学教授

アメリカ合衆国がまだイギリスの植民地だった頃に、外国からの訪問者が北米の暮しについて書いた旅行記や回想録があった。軍人や政治家、あるいはキリスト教の布教活動で訪れた修道僧などによる書物がそれだ。とりわけ有名なのは、St. John de Crèvecoeur だろう。かれはフランスのノルマンディ地方の貴族の子であり、少年時代にイギリスに送られて英語を学び、1754年に24歳で新大陸のイギリス植民地にやってきて、27年間ニューヨーク近隣の田舎で暮らした。そのときの生活をまとめた本が *Letters from an American Farmer* (1782)だ。

今回アティーナ・プレスから復刊される本シリーズの第26巻 Henry Theodore Tuckerman の *America and Her Commentators* (1864)は、その本から面白いエピソードを引き出してくる。独立戦争中 (1775-1783) にたびたびイギリス軍が勝手に Crèvecoeur 農地に駐留してかれを困らせたとか、Crèvecoeur は家族の一人に会うために前線を越えて敵地に入る許可を得ていたが、あるときフランス軍艦に捕まってスパイの容疑で短期間拘留されたことがあったとか…。

著者の Tuckerman (1813-1871) は、そういう Washington Irving 風の短いスケッチを積みながら、植民地時代から19世紀前半までのアメリカ合衆国の生活全般を、どのようにヨーロッパ人が記述しているか、まとめている。扱われる書物は広範にわたり、たとえば、フランスのミッション布教活動家たちや、シャトーブリアンをはじめとするフランスの旅行者、ディッケンズをはじめとするイギリスの旅行者、その他、ドイツやイタリアからの旅行者による書物が組上に載せられている。また、著者は同時代のアメリカ作家とも親交があり、Cooper や Hawthorne がどのように植民地生活を描いたかについても触れている。

第27巻、John Graham Brooks の *As Others See Us* (1908) も同様に、ヨーロッパ人による書物がいかにアメリカ合衆国を描いているかをまとめたもの。だが、ボストン生まれでラテン語学校にも通い、エリートであった Tuckerman の本と違い、ニューハンプシャーの商人の息子で、中西部の大学やハーヴァード神学校で学び、聖職者にもなっても安住することなく、労働者階級のために社会改革に尽力した Brooks (1846-1938) の本は、新生アメリカ合衆国に対し批判を加えるヨーロッパの書物を好意的に捉える懐の広さを備えている。おもに独立以降の合衆国について書かれた著作を取りあげ、アメリカの民主主義の矛盾 (人種問題、奴隷制) から、女性教育にいたるまで、

またアメリカ流消費主義から鉄道の寡占的支配にいたるまで、合衆国のナショナル・アイデンティティの形成という観点から論じている。Brooks には数年にわたる調査や研究のための、ドイツやイギリスでの滞在経験があり、また米国社会学会の会長を務めたこともある。本書はヨーロッパの旅人の眼から見た批評を合衆国の社会変革に役立てようという、知識人の倫理がうかがわれる好著だ。

第28巻、Alice Morse Earle の *Stage-Coach and Tavern Days* (1900) は、おもに New England を中心とする東部の植民地時代の生活を、宿屋=居酒屋 (当初は ordinary と呼ばれていたが、のちに tavern に変わった) と 駅馬車 (当初は stage-chaise と呼ばれていたが、のちに stage-coach とか stage-wagon に変わった) という、旅人には欠かせないシステムにトピックを絞って語る。宿屋=居酒屋やその看板、駅馬車やその広告などにまつわる図版を豊富に添えて平易な文章でつづられた読み物である。著者の Earle (1851-1911) は、本シリーズの第1巻 *Home Life in Colonial Days* (1898)、第2巻 *Child Life in Colonial Days* (1899) を含め、15冊以上に及ぶ植民地時代の生活誌を書いたこの分野の草分け的な作家であり、その著作は多くの人々に読まれた。



●【アメリカ研究基本シリーズ】Part 1～6 好評既刊! 詳しくはカタログをご請求下さい。

【発行】

Athena Press

株式会社 アティーナ・プレス



〒112-0011 東京都文京区千石 4-33-18

Tel: 03 (3946) 2117 Fax: 03 (5977) 8026

E-mail: eigyo@athena-press.co.jp

【取扱書店】